



令和2年2月期 決算説明資料

岡谷鋼機株式会社

令和2年3月31日

1. 連結経営成績
2. 連結財政状態
3. 連結キャッシュ・フローの状況
4. 個別業績の概要
5. 配当予想
6. 設備投資
7. 株主優待
8. トピックス

1. 連結経営成績

単位：億円

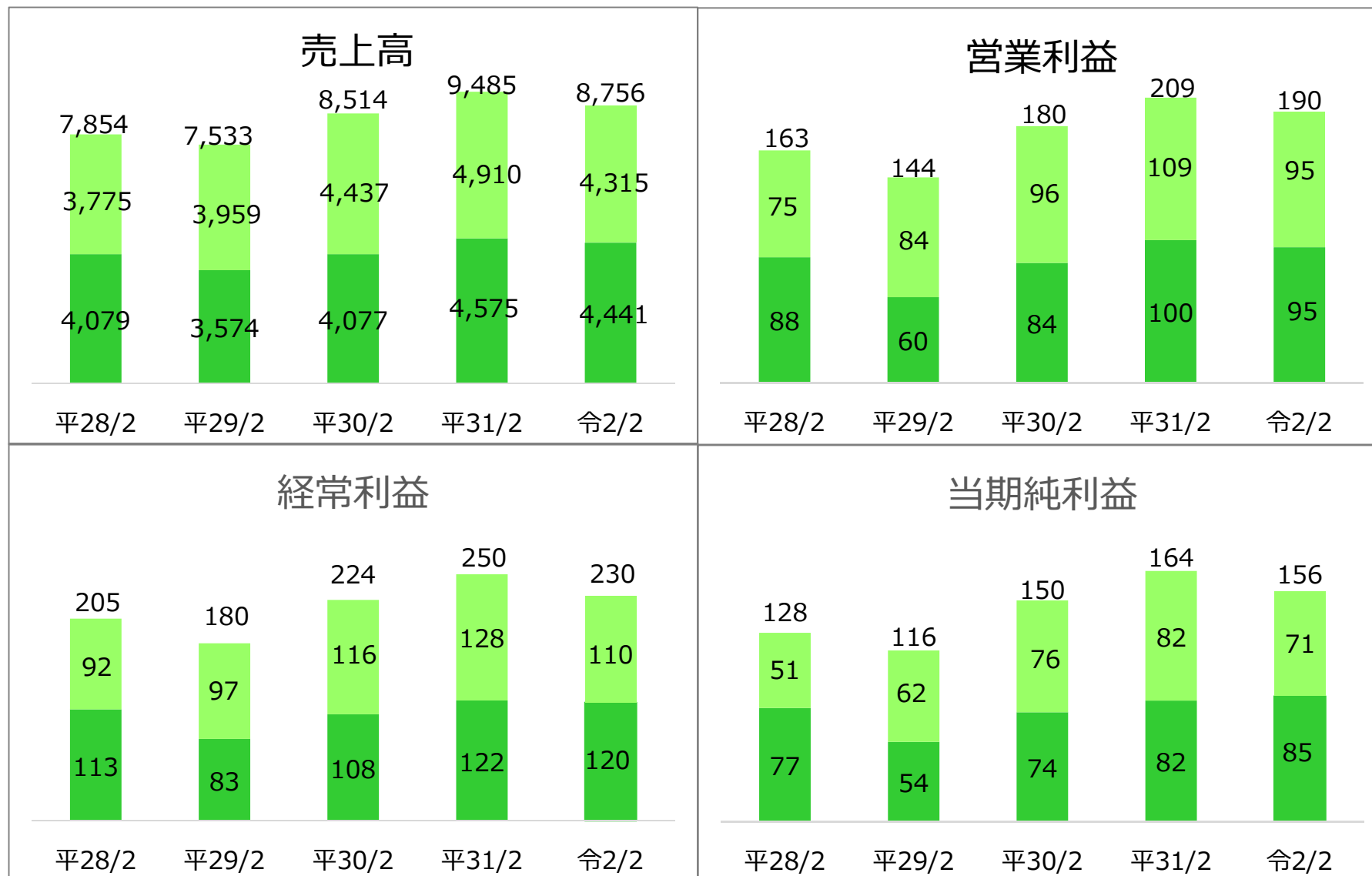
	平31/2期	令2/2期	前期比増減 (増減率)
売上高	9,485	8,756	△729 (△7.7%)
売上総利益	639	611	△28 (△4.4%)
販売費及び一般管理費	429	420	△8 (△2.1%)
営業利益	209	190	△19 (△9.2%)
経常利益	250	230	△19 (△8.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	164	156	△8 (△5.0%)
一株当たり 当期純利益	1,713.44円	1,627.93円	△85.51円
期末人員	5,079名	5,115名	+36名

連結子会社数：71社（増加2社、減少2社） 持分法適用会社数：14社（±0社）

1. 連結経営成績 <推移>

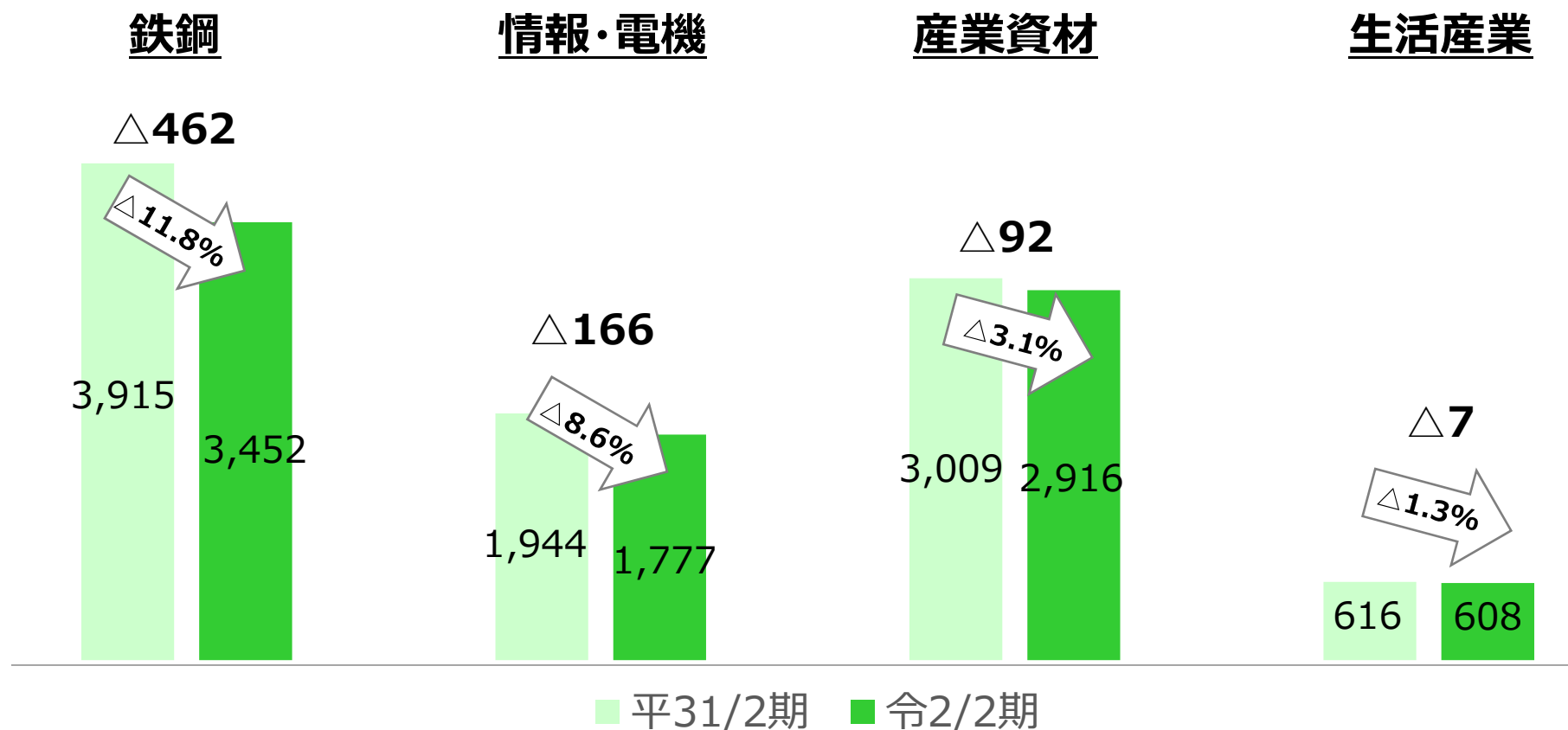
■ 上期 ■ 下期

単位：億円



1. 連結経営成績<セグメント別売上高>

単位：億円



建材関連・製造業向けの国内販売および米国・アジア向けの輸出が大幅に減少。

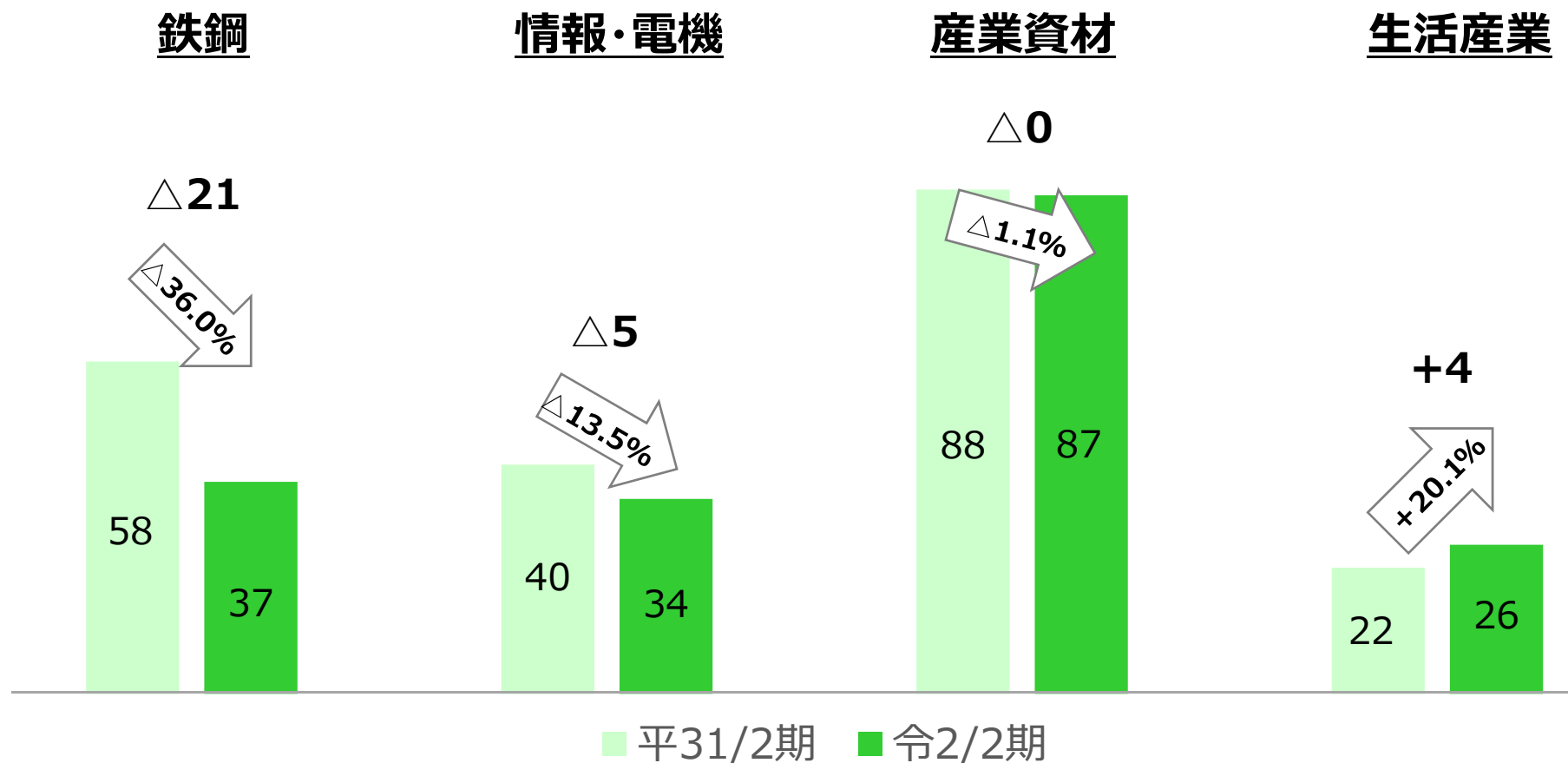
ITや医療関連が増加したが、エアコン部品用材料やFA関連が減少。

航空機向け部材やインド向け設備が増加したが、化成品はアジアでの販売が減少。

配管機材類や建築請負工事が増加したが、水産物や鶏肉の輸入が減少。

1. 連結経営成績<セグメント別営業利益>

単位：億円



2. 連結財政状態

単位：億円

	平31/2末	令2/2末	前期比増減
総 資 産	5,190	4,940	△249
(流 動 資 産)	3,287	3,117	△169
(有 形 固 定 資 産)	381	398	+17
(投 資 有 価 証 券)	1,278	1,177	△101
(その他の固定資産)	243	247	+3
負 債	3,044	2,746	△298
(流 動 負 債)	2,531	2,213	△318
(固 定 負 債)	512	532	+20
純 資 産	2,145	2,194	+48
自 己 資 本 比 率	39.5%	42.4%	+2.9%
有 利 子 負 債	1,236	969	△267

※会計基準変更に伴い、平31/2期の財政状態を一部遡及修正しております。

3. 連結キャッシュ・フローの状況

単位：億円

	平31/2期	令2/2期	前期比増減
営業活動による キャッシュ・フロー	△8	343	351
投資活動による キャッシュ・フロー	△25	△58	△33
財務活動による キャッシュ・フロー	39	△285	△324
現金及び現金同等物 の期末残高	87	86	△1

4. 個別業績の概要

単位：億円

経営成績	平31/2期	令2/2期	前期比増減 (増減率)
売上高	6,448	6,058	△389(△6.0%)
営業利益	109	101	△8(△7.9%)
経常利益	185	171	△13(△7.5%)
当期純利益	137	127	△9(△7.3%)
一株当たり 当期純利益	1,422.12円	1,318.76円	△103.36円
期末人員	684名	683名	△1名
財政状態	平31/2末	令2/2末	前期比増減
総資産	3,912	3,703	△208
純資産	1,577	1,607	+30
自己資本比率	40.3%	43.4%	+3.1%

※会計基準変更に伴い、平31/2期の財政状態を一部遡及修正しております。

5. 配当予想

単位：円

	令2/2期 実績	令3/2期 予想
第 2 四 半 期	110	(110)
期 末	120	(未定)
年 間 配 当	230	(未定)
配当性向(連結)	14.1%	(未定)

年間配当



()は予想値

6. 設備投資

単位：百万円

	平31/2期 実績	令2/2期 実績
設備投資額	3,093	6,266
	<主な内容>	<主な内容>
	賃貸用資産 設備 66	物流倉庫 増改築等 1,386
	事務所 設備 293	賃貸用資産 設備 923
		事務所 設備 229
	工場設備 (海外) 647	工場設備 (海外) 843
	工場設備 (国内) 380	工場設備 (国内) 551
	金型 516	金型 758
	システム関連 647	システム関連 1,148
	車両運搬具 142	車両運搬具 118
	その他 402	その他 310
減価償却費	3,628	3,787

7. 株主優待

□一般株主向け優待

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
愛知県産米 山の幻ミネアサヒ 5Kg	100株以上	2月末	4月下旬
	200株以上	8月末	10月下旬

□長期保有株主向け優待 (※)

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
図書カード2,000円相当	100株以上	2月末	4月下旬
図書カード1,000円相当	100株以上	8月末	10月下旬

※一般株主向け優待に加え、半期毎(2月末及び8月末)に発行される最終株主名簿に、同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件として贈呈いたします。
発送は通常の株主優待とは別送となります。

8. トピックス

年月	内容
令和元年 5月	上海岡谷精密機器有限公司の持分を譲渡
6月	ミャンマー国ヤンゴン市に鉄筋加工の合併会社設立
7月	インド岡谷鋼機会社 チェンナイ支店開設
7月・8月	岡谷エレクトロニクス株式会社による現地法人 2社設立（香港・深圳）
8月	米国 International Mold Steel, Inc.の本社工場拡張移転
11月	上海岡谷鋼機有限公司 寧波事務所開設
12月	欧州岡谷鋼機会社 イスラエル事務所開設
令和2年 1月	Vina Steel Center Co., Ltd.の持分を譲渡
令和元年10月 令和2年 2月	義援金寄付(台風第19号(令和元年東日本台風)・オーストラリア森林火災)
平成31年 3月 ～ 令和2年 2月	創業350周年関連の取組み 中川倉庫の建替え、SDGsへの全社取組み、愛知県小学生サッカー大会の冠協賛、 天野浩名古屋大学教授による講演会、寄付・協賛（南宮大社、鶴岡高専、名古屋国際学園、 日本医学会総会、全国植樹祭あいち2019、金山神社、ネザーランド・ダンス・シアター、 ラグビーワールドカップ2019日本大会、技能五輪・アビリンピック全国大会、世界運河会議、 藤田医科大学ほか）、社内記念大会、チャリティーコンサート開催 等

8. トピックス <350周年行事-SDGsへの取り組み>

平成30年9月に350周年行事の一環として

「みんなで取り組むSDGs」と名付け、17の目標と各組織を紐づけて活動を開始



8. トピックス <350周年行事-SDGsへの取り組み>



【取組内容】
アジアに母国語の絵本を送る活動

【組織】
人事総務本部



母国語のシール貼りの作業をする社員の様子

アジアで教育を受ける機会が乏しい子供たちのために、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会から日本語の絵本と翻訳シールを購入し、現地母国語の絵本を作成し寄付しました。

今後も絵本を届ける活動を行うことで、アジア各国の子どもたちの識字率の向上に貢献します。



【取組内容】
自動化システムの販売強化のための活動

【組織】
メカトロ本部



勉強会に参加する社員の様子

製造現場での深刻な人手不足を解消するために、少ない人材で生産性向上を目指す自動化システムやロボットを販売するノウハウを身に付け、顧客への積極的な販売活動に取り組みました。

今後も無人化、自動化設備の提案を行い、製造現場の生産性向上に貢献します。

8. トピックス <350周年行事-SDGsへの取り組み>



【取組内容】
開発途上国での技術支援・インフラ開発

【組織】
鉄鋼本部



ベトナム人作業員への技術指導の様子

日本の建設業界の人手不足解消と、
現地建設業の技術力・生産効率を向上させるために、
現地企業への技術指導の橋渡し役を務めました。

今後もさまざまな鉄鋼製品の販売を通じ、
世界中の国々で持続可能な社会の実現に貢献します。



【取組内容】
取引を通じての海洋資源の保護活動

【組織】
食品本部



認証証を掲げる社員の様子

乱獲による世界的な漁獲量の減少を防ぐために、
持続可能な漁業と加工・物流の認証である
MSC/ASC CoC認証の取得により、
サプライヤーへの適正な漁獲の働きかけを強化しました。

今後も安心・安全な取引を自ら実践することにより、
海洋資源の保護に貢献します。

ものづくりに貢献する感性豊かな
“グローバル最適調達パートナー”

岡谷鋼機株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する予測は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、実際の業績等は様々な要因により変更される可能性があります。当社は新しい情報、将来の出来事に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。